事例No.	2355
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	浅原の未来を創る会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・福祉・介護 ・関係人口

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（浅原の未来を創る会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

あさはら
浅原の未来を創る会①

09

【概要】

立地自治体	広島県廿日市市		人口規模	約500人
設立年度	平成30年度		活動エリア	旧小学校区と概ね一致する
構成団体	構成団体	• 住民全世帯	法人格の有無	無
	協力団体	• 自治会・町内会　11団体 • 子ども・青少年育成に関わる団体　1団体 • 福祉活動に関わる団体、民生委員・児童委員　4人 • 防犯・防災・交通安全に関わる団体　1団体 • 社会福祉協議会、福祉サービス事業所　3団体 • 行政機関、警察	体制	役員が事務局業務を担っている
			詳細 役員	4名（常勤・有償1名、非常勤・無償3名）
			詳細 役員以外	1名（非常勤・有償1名）
			ホームページなど	https://sites.google.com/view/asahara-asamira/home

【具体的な活動内容】

【住民交流】

- 遊休農地等を活用した都市農村交流として、遊休農地を活用したさつまいもの植え付け・収穫体験を実施している。
- ターゲットは都市部のファミリー層で、定期的かつ長く地域と関わってもらうため、星空観測会等の他の行事にも参加を呼びかけている。

【高齢者支援、居場所づくり、交流促進】

- 大手スーパーチェーンと連携し、移動販売を行うとともに、移動販売と連携する形で無人店舗を運営している。
- 無人店舗は、市と浅原の未来を創る会、大手チェーンが買い物支援に関する覚書を締結し、浅原交流館内に設置している。
- あさはらビジョン（後述）策定がきっかけとなり、地域の生活課題に応じた新たな取組（例えば、近隣コイン精米所の廃止に伴う、敷地内への精米機の導入など）を行っている。





出典：浅原の未来を創る会　資料

あさはら
浅原の未来を創る会 ②

09

【地域計画（ビジョン）の策定・見直しに向けた取組事例】

取り組み	「あさはらビジョン2023 ～あなたは浅原で何したい？～」の策定及び地域の生活課題解決に資する事業の企画立案
経緯・狙い	• 浅原の暮らし心地や生活課題を見える化しようと実施した「浅原まちづくりアンケート」結果と、生活拠点である「あさはらまちづくり交流センター」の指定管理を受けることについて、すべての町内会で報告会を行って地域の機運の醸成を図りながら、まちづくりの羅針盤となるビジョンづくりを始めた。「誰もが暮らし続けられる浅原」をコンセプトに、地域住民をはじめとする浅原にご縁のある様々な人々を呼び込んだり、市職員も地域づくりの進め方を学べるよう参加する過程を組むなど、自分たちのドラマを創り、1人で、仲間で、具体的な活動につなげることを目的とした。
取組の概要	• ビジョンづくりの過程において、「あさはらビジョンづくりワークショップ」を開催し、話し合い、対話を重ねた。 • ワークショップは合計3回開催し、参加者は、地域住民や浅原にご縁のある人たちで、企画は、浅原の未来を創る会（あさみら）、市と社会福祉協議会の職員、県立生涯学習センター職員によるチームで考え、当日の運営は、これらに外部のファシリテーター、あさみら運営スタッフが加わった。前述のアンケート報告会を各地域で丁寧に実施したことによって、趣旨をご理解いただき積極的な参加につながった。若者から高齢者、移住者等、様々な人達が集って地域の未来を語り、賑やかな話し合いをすることができた。当ワークショップがきっかけとなって、別の話し合いの場につながるなど、地域づくりに「参加しても良い」「何をやっても良い」という空気感が創られた。 • ビジョンの根幹に「試しにやってみる」意識があり、様々な地域の生活課題に対応する事業が立ち上がった。例えば、コイン精米機の設置や旧小学校のグラウンドの芝生化、耕作放棄地の活用など、分野も多岐に渡り、その後も、新たなアイデアがどんどん出てきている。 • 地元出身のイラストレーターによる冊子づくりや地域の人それぞれが自分が得意なことで各種活動に関わっており、適材適所な人が集まるようになっている。  出典：浅原の未来を創る会　資料
成果	• 一連の取組を通じ、住民の意識変革につながり、何気なく見えていた地域に対して、自分も何かをできるのではないかという当事者意識が醸成され、地域のことを自分ごとにする人が増えた。 • 行政も地域と一緒に考え、議論したことによって、両者の距離感が縮まるとともに、職員研修としても効果があった。
今後取組みたいこと	• ビジョンづくりの課程で醸成された地域の雰囲気を大切にしながら、「イラストで語り合う」「仲間と企画する」「試しにやってみる」というビジョンの使い方に沿って月1回開催している「浅原の縁側（ビジョンおしゃべり会）円卓会議」を中心に、これからもワクワクしながら、気軽に話し合い、お互いに影響を与え合い、自分も変わっていくし、地域も変化していくという代謝が起こり続けるよう浅原のみんなで愉しく活動していきたい。